

2024.4月速報 業況D1は、一層のコスト増と消費停滞で、悪化。先行きは、消費拡大等による改善への期待高まる

全産業合計の業況D1は、▲14.0（前月比▲1.1ポイント）。製造業は輸入部材の高騰や企業の設備投資の足踏み等で悪化。建設業は資材価格の高騰や人手不足による受注機会の損失でほぼ横ばい。卸売業も飲食・宿泊関連からの引き合いが増加するものの、物流費の高騰などのコスト増で弱含んでいます。小売業・サービス業は、国内外の観光需要の増加や、歓送迎会などの季節需要の恩恵を受けて改善を示していますが、力強さを欠いています。歴史的な円安基調や深刻な人手不足への対応、働き方改革関連法の施行に伴う輸送費の上昇や、賃上げ等によるコスト増が足かせとなっており、コスト増に見合う労務費を含む価格転嫁も追い付かず、業況は再び悪化に転じました。

【産業別概況と見通し】 前月と比べたD1値の動き ↗改善 →ほぼ横ばい ↘悪化



資材価格等の高騰に加え、住宅関連を中心に民間工事の受注不振は継続しているものの、受注が堅調に推移する公共工事が下支えし、ほぼ横ばい。働き方改革関連法の施行に伴い、さらなる人手不足への懸念も高まっている。

- 「働き方改革関連法が施行されたが、事前に発注者や設計会社と連携を図っていたことで、問題なく対応ができるている。また、下請け企業にも施行に伴って割り増して賃金を支払う等、円滑な業務遂行に努めている。しかし、繁忙期に適切な人員数の確保ができるかは不安が残る」（一般工事）
- 「公共工事を中心に価格転嫁は行えているが、物価の上昇が続いているため、すべてを価格に転嫁できていない」（土木事業）



歴史的な円安基調による輸入部材の高騰や輸送費の上昇など、負担するコスト増が継続する中、企業の設備投資の足踏みにより一般機械器具関係や電子機器関係を中心には、悪化。需要停滞による在庫調整で売上減少を訴える声も聞かれた。

- 「受注生産の都度、価格協議に取組み受注金額を上げる努力を行っている。一方、円安による原材料・エネルギー価格の高騰や、物流2024年問題による輸送費等の仕入れコストの上昇、賃上げによって労務費が増加しており、採算は改善されていない」（通信機械器具製造業）
- 「取引先の新品在庫が過剰なため、部品調達を控えられており、売上が減少している」（金属加工機械製造業）



働き方改革関連法の施行に伴う輸送費の上昇や、歴史的な円安基調による輸入コストの高騰が継続しているものの、国内外の観光需要の増加により、飲食・宿泊関係からの引き合い増加が下支えし、ほぼ横ばい。

- 「固定費の推移を会計ソフトで見える化し、随時適正な価格設定を行っている。目下の課題は、物流2024年問題による配送業者の人手不足に伴う納品遅延の発生等である。取引先に対して早めに注文書を送ってもらう等、余裕を持って対応できるよう努めている」（食料・飲料卸売業）
- 「物流2024年問題に伴い、取引先への納品遅延や、最低発注数の引き上げに伴う在庫数の増加で、保管料等のコストが上昇している」（包装資材卸売業）



物価の高止まりによる消費者の買い控えは継続しているものの、新生活用品等の季節需要やインバウンド需要の増加で売上が好調な百貨店がけん引し、改善。政府の激変緩和措置の終了に伴う電気代等の負担増を危惧する声が聞かれた。

- 「インバウンドを含めた観光需要の増加で売上は堅調に推移している。コロナの5類移行後初の大型連休を控え、先行きも売上増に期待している。一方、電気・ガスの激変緩和措置が終了する見込みのため、コスト増により採算の悪化を危惧している」（百貨店）
- 「新学期需要はあるものの、消費者の買い控えは続いているため、例年と比較すると売上は伸びていない」（衣服小売業）



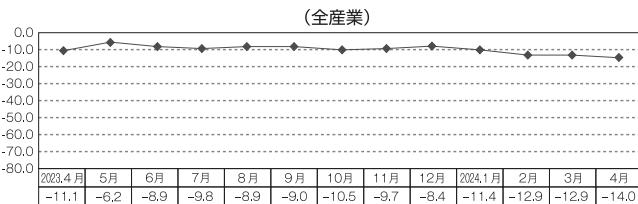
国内外の観光需要の高まりや歓送迎会等の季節需要の恩恵を受けた飲食・宿泊業を中心に、改善。一方で、人手不足で需要増に対応が追いつかない状況や、人材確保に向けた賃上げによるコスト増に苦慮する声が聞かれた。

- 「コロナ禍で始めたテイクアウト事業が好調な中、今年は歓送迎会の予約も堅調に推移しており、売上・採算ともに改善に向かっている。一方、人手不足は深刻さを増しており、人材確保に向けて高水準での賃上げを図りたいが、価格転嫁も道半ばのため、原資確保に向けて業務改善を図りたい」（飲食店）
- 「働き方改革関連法の施行に向け、価格交渉を行ってきた。多くの取引先には値上げを承諾してもらえたが、取引中止となった企業もあった」（運送業）

業況D1の推移

	2023年11月	12月	2024年1月	2月	3月	4月	見通し5~7月
全産業	▲9.7	▲8.4	▲11.4	▲12.9	▲12.9	▲14.0	▲12.7
建設業	▲11.7	▲11.0	▲12.3	▲13.0	▲15.6	▲16.5	▲12.2
製造業	▲10.2	▲8.1	▲13.4	▲17.0	▲14.8	▲21.7	▲16.8
卸売業	▲12.0	▲6.9	▲10.4	▲19.2	▲17.4	▲16.6	▲17.9
小売業	▲18.7	▲20.8	▲16.2	▲14.4	▲17.9	▲16.5	▲15.6
サービス業	0.2	2.4	▲5.2	▲4.4	▲3.8	▲2.4	▲4.7

*見通しは、当月に比べた向こう3ヶ月の先行き見通しD1



※調査期間：2024年4月12日～18日

全国326商工会議所から4,472企業にヒアリング（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

※D1値（景況判断指標）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。
ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりを意味する。

県内企業倒産発生状況

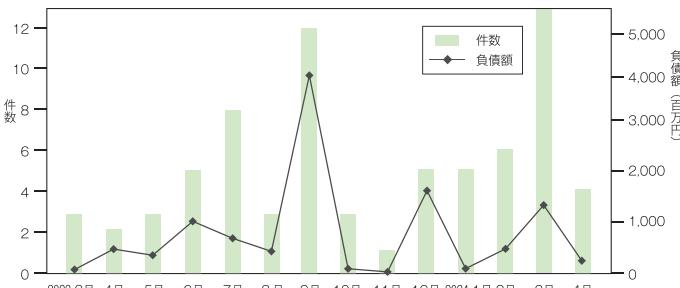
前年同月に比べ件数、負債総額ともに大幅増加

令和6年4月概況と見通し

全国的には、雇用・所得環境が改善する下で各種政策の効果もあり、緩やかに回復していますが、物価上昇、海外情勢、金融資本市場の変動による影響に十分留意する必要があります。山形県においては、公共投資や設備投資は横ばい圏内の動きですが、個人消費、雇用・所得環境を含めた全体的な景気は引き続き緩やかに持ち直しているものと見られま

す。日銀のマイナス金利政策解除により、すでに一部では金利の上昇が聞かれます。10年以上に及ぶ低金利の中で経営してきた中小企業にとって、物価高や人件費アップで収益が悪化した中での金利上昇は、根本的なビジネスモデルの見直しを迫られます。こうした状況を背景に、企業倒産は夏場を境に緩やかな増勢を辿る可能性が見受けられます。

山形県 月別倒産件数 負債額



東南置賜…米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ

県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和6年3月	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
食 料	116.6	1.0	5.6
住 居	106.9	0.0	2.0
光熱・水道	107.5	▲2.2	▲0.1
家具・家事用品	114.3	▲2.1	4.0
被服及び履物	112.3	1.1	4.1
保 健 医 療	104.2	0.0	2.7
交 通 ・ 通 信	96.9	0.0	2.8
教 育	100.0	0.0	0.7
教 養 娯 楽	113.2	1.0	8.4
諸 雑 費	104.0	0.0	0.9
総 合	108.3	0.1	3.5

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

品 目	全 国		山 形 県	
	百貨店+スーパー		百貨店+スーパー	
	販 売 額	前年同月比 全店舗	販 売 額	前年同月比 全店舗
紳士服・洋品	42,515	0.8	143	▲6.9
婦人・子供服・洋品	153,343	2.1	174	▲13.4
その他の衣料品	12,433	▲2.0	29	▲3.1
身の回り品	112,040	16.9	25	▲13.6
飲食料品	1,197,521	6.0	10,792	4.9
家 具	8,003	5.6	73	▲7.9
家庭用電気機械器具	15,075	6.3	49	▲8.4
家庭用品	37,289	6.0	260	2.5
その他の商品	296,414	11.1	729	1.1
食堂・喫茶	12,991	3.5	33	6.2
合 計	1,887,624	6.8	12,306	4.0

経済産業省 東北経済産業局調べ

(注・販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

米沢市建築確認申請状況(専用住宅) 件数、床面積ともに前年を下回った

令和6年4月	件 数			床面積 (m ²)		
	2・3号建築物	4号建築物	小計	2・3号建築物	4号建築物	小計
総 数	0	12	12	0	1,373	1,373
新 築	0	10	10	0	1,282	1,282
増 築	0	2	2	0	91	91
前月比(%)	総 数	0.0	63.2	57.1	0.0	48.4
前年同月比(%)	総 数	0.0	92.3	75.0	0.0	81.4
						65.4

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物（木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など）
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物（2・3号に挙げる建築物以外、木造2階住宅など）

米沢市の人口と世帯数

令和6年4月1日現在

人 口 77,372人 (78,710人)

世帯数 33,468世帯 (33,504世帯) 一世帯当たり 2.31人 (2.35人)

() 内前年同月データ

資料／米沢市政企画課統計調査担当

一般職業紹介

有効求人倍率は前年を0.42ポイント下回った

米沢市

新規学卒除きパートタイム含む

	求人数	求職数	求人倍率	充足数
令和6年3月	有効	2,715	2,505	1.08
	新規	907	566	1.60
前月比 (%)	有効	100.6	100.6	90.0
	新規	85.7	85.7	108.1
前年同月比 (%)	有効	67.3	67.3	72.0
	新規	65.2	65.2	82.9

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別(山形県)

	求人数	求職者数	求人倍率
管 理	35	60	1.71
専 門 ・ 技 術	2,060	3,940	1.91
事 務	4,968	2,558	0.51
販 売	1,064	2,635	2.48
サ ー ビ ス	1,860	4,343	2.33
保 安	138	561	4.07
農 林 漁 業	361	424	1.17
生 産 工 程	2,453	3,329	1.36
輸送・機械運転	617	1,051	1.70
建設・採掘	303	1,682	5.55
運搬・清掃	3,170	1,747	0.55
そ の 他	1,380	0	-

(主要業務指数・パートタイムを含む全数)

資料：山形労働局職業安定課